

平成 26 年 7 月 13 日 (日) 施行

第 175 回 全経簿記能力検定試験 1 級 会計 解説

第 1 問

1. 企業会計原則 第一 一般原則 五
2. 企業会計原則注解 [注 3]

第 2 問

1. 現金過不足 (貸方) ¥65,300
消耗品費が ¥2,700 計上不足、売掛金 ¥34,000 取り消し + 回収
2. 焼失時の事務所の帳簿価額は ¥12,600,000 - ¥5,040,000 = ¥7,560,000
これに対し、保険金の支払は ¥8,200,000 帳簿価額 < 保険金 → 保険差益 ¥640,000
3. 改修の結果、残存耐用年数 10 年 + 15 年延長
改修費のうち、残存耐用年数と延長年数で按分する。
¥4,800,000 × 10 / 25 = ¥1,920,000 → 修繕費
¥4,800,000 × 15 / 25 = ¥2,880,000 → 建物
4. 毎月の回収額は ¥1,500,000 / 12 回 = ¥125,000
このうち利益分は ¥125,000 × 34% = ¥42,500
未実現の利益 ¥42,500 × 7 回分 = ¥297,500 を控除する。

	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目	9回目	10回目	11回目	12回目
利益	42,500	42,500	42,500	42,500	42,500	42,500	42,500	42,500	42,500	42,500	42,500	42,500
原価	82,500	82,500	82,500	82,500	82,500	82,500	82,500	82,500	82,500	82,500	82,500	82,500

5. 社債の発行価額は ¥50,000,000 × (¥97.60 / ¥100) = ¥48,800,000
当期の償却額は (¥50,000,000 - ¥48,800,000) / 5 年 × (9 ヶ月 / 12 ヶ月) = ¥180,000

(借) 社債利息	180,000	(貸) 社債	180,000
----------	---------	--------	---------

 また、決算日までの経過月数の利息は ¥50,000,000 × 2.3% × (9 ヶ月 / 12 ヶ月) = ¥862,500

(借) 社債利息	862,500	(貸) 未払利息	862,500
----------	---------	----------	---------
6. 内金受取時のレートは €1 = ¥140 なので前受金 €2,000 × ¥140 = ¥280,000
商品引渡時のレートは €1 = ¥143 なので売掛金 €19,000 × ¥143 = ¥2,717,000

第 3 問

- (1) 本日 (3/20) 支払日の手形は (a) 手形記入帳に記載された 1/20 振出の手形である。
これは得意先からの売掛金の回収として受け取った為替手形なので、(a) は「受取」であり、(b) は「売掛金」である。またこの手形を本日更改するので、(c) は「更改」となる。
更改により ¥200,000 × 0.004 × 2 ヶ月 = ¥1,600 の利息分を加えた ¥201,600 (e) の新手形を受け取る。また、以下より摘要欄 (d) は「諸口」となる。

(借) 受取手形	201,600	(貸) 受取手形	200,000
		受取利息	1,600
- (2) 釧路商会 (j) 振出、尾瀬会社 (i) 受取の為替手形 (h) を引き受けた。
この引き受けにより釧路商会に対する買掛金の支払いになるので (g) は「買掛金」である。

第4問

子会社の企業結合日の資産の時価より

(借) 諸 資 産	13,900	(貸) 評 価 差 額	13,900
-----------	--------	-------------	--------

少数株主持分は $(100,000 + 25,000 + 58,600 + 13,900) \times 40\% = 79,000$

連結修正仕訳は

(借) 資 本 金	100,000	(貸) 子 会 社 株 式	122,000
資 本 剰 余 金	25,000	少 数 株 主 持 分	79,000
利 益 剰 余 金	58,600		
評 価 差 額	13,900		
の れ ん	(※)3,500		

※貸借差額

第5問

[資料2] 検討事項

1. 仮払金の処理

(借) 繰越利益剰余金	935	(貸) 仮 払 金	5,970
退職給付引当金	650	利 益 準 備 金	85
仮払法人税等	1,380		
仮払消費税	3,090		

2. 仮受金の処理

(借) 仮 受 金	16,590	(貸) 前 受 金	400
		仮 受 消 費 税	4,190
		資 本 金	8,000
		資 本 準 備 金	4,000

3. 消費税

(借) 仮受消費税	4,190	(貸) 仮払消費税	3,090
		未払消費税	1,100

4. 売上割引は売上高から控除ではなく、営業外費用とする。

(借) 売 上 割 引	780	(貸) 売 上 高	780
-------------	-----	-----------	-----

[資料3] 決算整理事項

1. 売掛金の期末残高は 19,700 千円

貸倒引当金は $19,700 \text{ 千円} \times 1\% = 197 \text{ 千円}$

残高試算表の貸倒引当金残高は 20 千円なので、差額補充法により、

(借) 貸倒引当金繰入	177	(貸) 貸 倒 引 当 金	177
-------------	-----	---------------	-----

2. 売買目的有価証券の評価替え

裏磐梯会社株式 $(1.7 \text{ 千円} - 1.8 \text{ 千円}) \times 800 \text{ 株} = \Delta 80 \text{ 千円}$

富良野会社株式 $(2.6 \text{ 千円} - 2.4 \text{ 千円}) \times 1,400 \text{ 株} = 280 \text{ 千円}$

(借) 有 価 証 券	200	(貸) 有 価 証 券 評 価 益	200
-------------	-----	-------------------	-----

3. 期末商品の評価

@4千円	商品評価損なし	棚卸減耗費	商品評価損 正味売却価額>取得原価 ⇒ 商品評価損なし 棚卸減耗費 @4千円×(1,310個-1,300個)=40千円
@5.4千円	a商品		
	1,300個	1,310個	
@3千円	商品評価損なし	棚卸減耗費	商品評価損 正味売却価額>取得原価 ⇒ 商品評価損なし 棚卸減耗費 @3千円×(1,370個-1,350個)=60千円
@4千円	b商品		
	1,350個	1,370個	

帳簿棚卸商品

a商品 4千円×1,310個=5,240千円
 b商品 3千円×1,370個=4,110千円
 棚卸減耗費…40千円+60千円=100千円

} 9,350千円

(借) 仕入	9,080	(貸) 繰越商品	9,080
繰越商品	9,350	仕入	9,350
棚卸減耗費	100	繰越商品	100

4. 減価償却

建物(定額法) 残存価格ゼロ

$$(16,800 \text{ 千円} - 0 \text{ 円}) / 60 \text{ 年} = 280 \text{ 千円}$$

備品(定率法) 償却率 0.250

$$(5,860 \text{ 千円} - 2,420 \text{ 千円}) \times 0.250 = 860 \text{ 千円}$$

(借) 減価償却費	1,140	(貸) 建物減価償却累計額	280
		備品減価償却累計額	860

5. 長期借入金 15,000千円のうち平成26年5月末と11月末にそれぞれ2,500千円の計5,000千円返済するので、1年以内返済長期借入金に振り替える。

(借) 長期借入金	5,000	(貸) 1年以内返済長期借入金	5,000
-----------	-------	-----------------	-------

また、借入から決算日までは4ヵ月経過しているので、当期の利息は

$$15,000 \text{ 千円} \times 3.2\% \times (4 \text{ ヵ月} / 12 \text{ ヵ月}) = 160 \text{ 千円}$$

(借) 未払費用	160	(貸) 支払利息	160
----------	-----	----------	-----

6. 支給対象期間6か月のうち、当期に含まれるのは4か月

$$\text{賞与引当金繰入} \cdots \text{支給見積額 } 1,830 \text{ 千円} \times (4 \text{ ヵ月} / 6 \text{ ヵ月}) = 1,220 \text{ 千円}$$

(借) 賞与引当金繰入	1,220	(貸) 賞与引当金	1,220
-------------	-------	-----------	-------

7. 退職給付の積立

(借) 退職給付費用	920	(貸) 退職給付引当金	920
------------	-----	-------------	-----

8. 投資不動産賃貸料の繰延べ

平成 26 年 2 月 1 日に受け取った 360 千円のうち 4 か月分は来期分である。

$360 \text{ 千円} \times (4 \text{ ヶ月} / 6 \text{ ヶ月}) = 240 \text{ 千円}$

(借) 投資不動産賃貸料	240	(貸) 前受収益	240
--------------	-----	----------	-----

9. 法人税の計上

検討事項 1 より、仮払法人税等が 1,380 千円あるので

(借) 法人税等	2,250	(貸) 未払法人税等	870
		仮払法人税	1,380